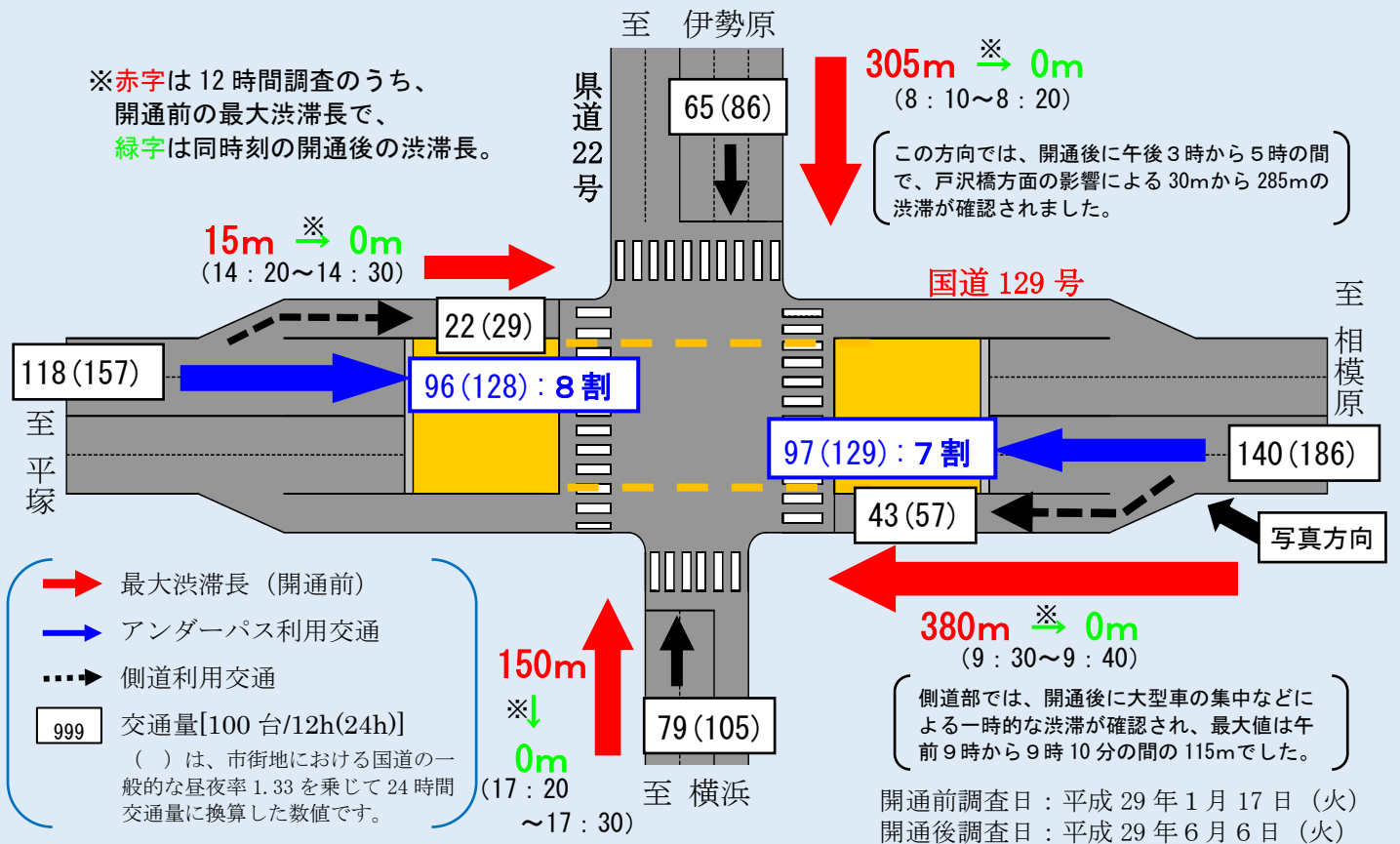


戸田交差点立体化による整備効果

- 開通前は、赤矢印のような渋滞が発生していました。
- 開通後は、国道 129 号を走行する車両の約 7～8 割がアンダーパスを利用しています。
- 国道 129 号の戸田交差点を先頭とする渋滞がほぼ解消しました。

戸田交差点における渋滞長・交通量調査結果

(12 時間 7 : 00~19 : 00)



整備前



整備後



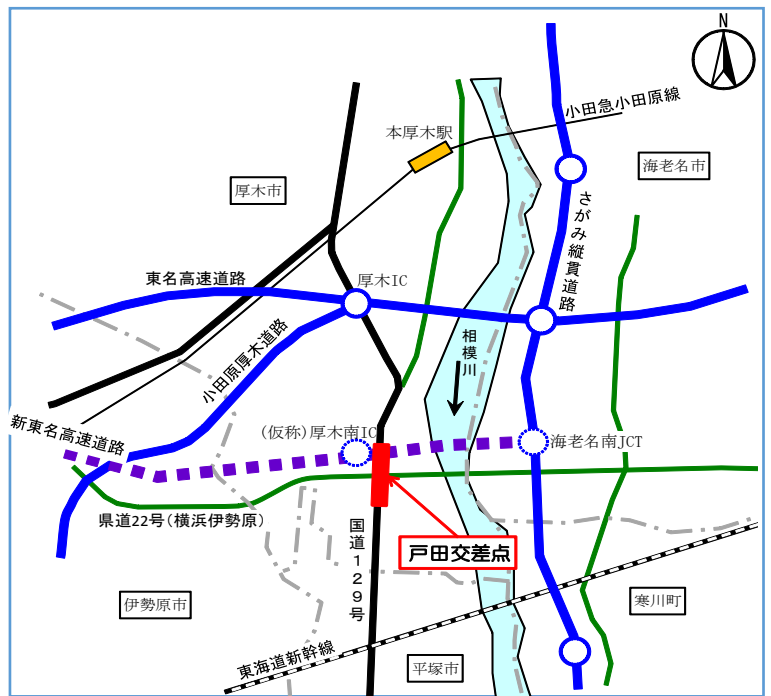
国道 129 号の相模原から平塚に向かう車線では、最大渋滞長 380m から換算すると、
最大で約 20 分の時間短縮 ができました。

戸田交差点立体交差事業の概要（参考）

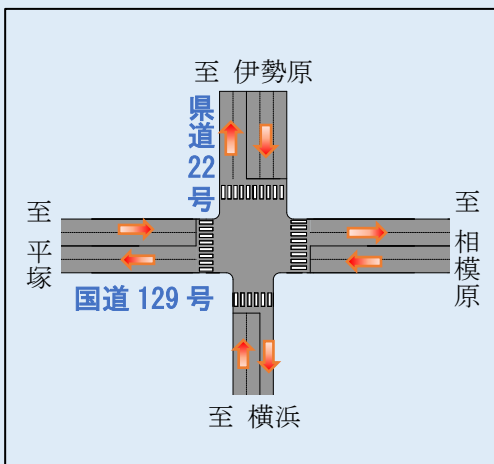
国道129号は、平塚市の国道134号から厚木市を経て相模原市の国道16号にいたる県土の南北主要交通軸ですが、厚木市域においては、東名厚木ICと接続していることもあり交通量が非常に多く、県土の東西主要交通軸である県道22号（横浜伊勢原）との戸田交差点付近では、交通渋滞が慢性化していました。

こうしたことから県では、戸田交差点付近における交通の安全と円滑化を図るため、平成12年度から国道129号が県道22号をアンダーパスする「戸田交差点立体化」事業を進め、平成29年3月25日に供用を開始しました。

- 事業箇所 厚木市 戸田～酒井 地内
- 事業延長 L=約1,200m
- 基本幅員 W=22m～37.5m
- 供用日 平成29年3月25日
- 事業期間 平成12年度～平成29年度



事業着手前（平面交差）



完成（立体交差）

